

福祉用具専門相談員の指定講習会 や ケアマネジャーとの研修会 など、地域で福祉用具サービス計画作成の講義・指導ができる福祉用具専門相談員の養成を目指します！！

厚生労働省では、福祉用具専門相談員の指定講習の見直しに係る省令、通知等の改正作業を平成 27 年度に行いました。新カリキュラムには新たに福祉用具サービス計画に関する科目などが追加されました。また、講師要件に福祉用具専門相談員が追加され、一部の科目については講師を務めることができるようになります。さらに、ケアマネジャーの更新研修においても、平成 28 年 4 月から福祉用具に関する科目が必修化されました。そして平成 30 年度改正では福祉用具サービス計画作成ガイドラインが新たに制定されました。福祉用具専門相談員が活躍できる場が広がるなか、本会では、スーパーバイザーを各地の研修機関、ケアマネジャー等に紹介したいと思っております。

ふくせん会員限定！！

【大阪】 2019 年 8 月 30 日(金)・31 日(土)

パラマウントベッド株式会社大阪支店

(大阪市西区土佐堀 2 丁目 3 番 33 号)

1 日目(8/30) 13:30 開始予定 18:30 終了予定

2 日目(8/31) 9:30 開始予定 17:30 終了予定

※2 日間受講修了者に、修了証を交付致します。

定員： 30 名(先着順)

※定員に達し次第締め切らせていただきます。

※申込内容確認の上、確定のご連絡・受講料のお振込依頼の通知を送付します。

受講料： ￥15,000 (テキスト代含む)

※食費・交通費・宿泊費は別途ご負担ください。

■受講要件 *すべての要件を満たしている必要があります(※3)

- ①本会会員であること(※1)、②現在福祉用具専門相談員として従事していること、③実務経験が5年以上あること、④事業所の管理者の推薦があること、⑤講師依頼などに真摯に対応して下さる意思があること、⑥本会ウェブサイトで「氏名」、「活動エリア」、「所属」を公表することに同意いただけること(※2)

(※1)非会員の方は研修会当日までにご入会ください。受講確定後に入会を申し込み、研修会当日までに入会手続きを完了していただければ結構です。

(※2)「活動エリア」は都道府県、「所属」は事業所または所属団体を指します。公表が困難な場合は一度本会事務局にご相談ください。

(※3)受講要件①～⑥で判断に迷う場合などがありましたら、本会事務局までお問い合わせください。

<ふくせんの目指す「スーパーバイザー」とは？>

「スーパーバイザー」とは指導役を指します。自分の会社での指導役が一般的ですが、ふくせんでは、全国を通じて福祉用具サービス計画書が一定の質を保たれるよう、地域で活躍する指導役の養成を目指します。

<カリキュラム>

1	スーパービジョンの基本	講義(60分)・演習(30分)
2	福祉用具サービス計画に係る指導計画の作成	講義・演習(120分)
3	福祉用具サービス計画の意義と介護保険制度における位置づけ	講義(30分)
4	福祉用具サービス計画の作成について	講義・演習(90分)
5	モニタリングの意義と作成・活用について	講義(演習)(60分)
6	グループワークによる計画作成演習の運営方法	演習(120分)
7	計画・モニタリングの説明に関するロールプレイングの運営方法	演習(90分)
8	振り返り・アンケート	テスト・アンケート

<講師陣>

- 渡邊慎一氏((一社)神奈川県作業療法士会顧問)●
- 村山尚紀氏((社福)芳春会ピオラ和泉施設部部長)●
- 淵上敬史氏(㈱ウィズ AS 事業部 課長 (予定))



申し込みの締切日は、**7月31日(水)12:00**まで → お申込みは裏面から

受講者の決定について

- 受講要件をすべて満たしているか確認します。
 - 受講の可否については、本人宛に、メールまたは FAX でお知らせします。
- ※受講可否のお知らせの際に、受講料のお振込みなどに関するご連絡をいたします。
- ※振込後のキャンセル・払い戻しは原則できませんので、よくご確認のうえお申込みください。

■本人記入欄（すべての項目をご記入ください）

ふりがな					会員番号			会場
氏名								大阪会場 8/30(金)・31(土)
勤務先 部署・役職								
住所	〒 (都・道・府・県)							
連絡先 ※全項目必須 (受講可否等の連絡に必要 です。必ずご記入ください)	電	所属先:			FAX	福祉用具専門相談員 ※経験年数 5年以上(必須)		
	話	携帯:						
	メールアドレス(※PCのみ)						年	ヶ月
受講理由(必須)								
同意 (☑をつけてください) 同意未記入の場合受講で きない場合がございます。	<input type="checkbox"/> 研修修了後、一般社団法人全国福祉用具専門相談員協会ウェブサイト(http://www.zfssk.com) において、「氏名」、「活動エリア」、「所属」を公表することに同意します。(※) <input type="checkbox"/> 講師の依頼があった場合は可能な限り受諾し、真摯に対応します。 (※)「活動エリア」は都道府県、「所属」は事業所または所属団体を指します。公表が困難な場合は一度本会へご 相談ください。 2019(R元)年 月 日 氏名: 印							

■事業所の管理者の記載欄

上記の者を、福祉用具サービス計画作成スーパーバイザーに推薦します	2019(R元)年	月	日
会社名 _____			
部署・役職 _____			
氏名 _____ 印			

●本研修会は、「福祉用具サービス計画作成 SV 養成研修検討委員会」のもとに企画・検討したものです。

委員長: 白澤政和氏(桜美林大学大学院老年学研究科教授)、副委員長: 渡邊慎一氏((一社)神奈川県作業療法士会顧問)

委員: 久留善武氏((一社)シルバーサービス振興会事務局長)、神智淳氏(お茶の水ケアサービス学院院長)、鈴木みどり氏((株)トップコーポレーション代表取締役社長)、田中康之氏((一社)千葉県理学療法士会会長、千葉県千葉リハビリテーションセンター地域連携部地域支援室室長)、成田すみれ氏((一社)神奈川県介護支援専門員協会理事、(社福)いきいき福祉会 総合施設長)、東畠弘子氏(国際医療福祉大学大学院教授)、湯脇稔氏((株)カクイクスウィング営業本部専任次長)

※所属は平成 26 年 7 月当時のものです。

R 元年度「福祉用具サービス計画作成スーパーバイザー養成研修」 in 大阪
プログラム & プロフィール

日時: R 元(2019)年 8 月 30 日(金)・31 日(土)

場所: パラマウントベッド株式会社大阪支店

主催: 全国福祉用具専門相談員協会(ふくせん)

第 1 日目 (8 月 30 日)			
1	13:30～13:45	開校式・オリエンテーション	(ふくせん事務局)
2	13:45～14:15	講義／福祉用具サービス計画の意義と介護保険制度における位置づけ(3)	渡邊 慎一 氏 (一般社団法人神奈川県作業療法士会 顧問)
3	14:15～14:20	【休憩】(5分)	—
4	14:20～15:50	講義・演習／福祉用具サービス計画の作成(4)	渡邊 慎一 氏 (前掲)
5	15:50～16:00	【休憩】(10分)	—
6	16:00～17:00	講義(演習)／モニタリングの意義と作成・活用(5)	淵上 敬史 氏 (株式会社ウィズ AS 事業部 課長)
7	17:00～17:05	【休憩】(5分)	—
8	17:05～18:35	講義・演習／スーパービジョンの基本(1)	村山 尚紀 氏 (社会福祉法人芳春会 ビオラ和泉施設部部长)
9	19:00～20:30	懇親会 ※申込者のみ、別会場	—
第 2 日目 (12 月 8 日)			
10	09:45～11:45	講義・演習／福祉用具サービス計画に係る指導計画の作成(2)	村山 尚紀 氏 (社会福祉法人芳春会 ビオラ和泉施設部部长)
11	11:45～12:45	【昼食休憩】(60分)	—
12	12:45～14:25	演習／グループワークによる計画作成演習の運営方法(6)	村山 尚紀 氏 (前掲)
13	14:25～14:35	【休憩】(10分)	—
14	14:35～16:35	演習／計画・モニタリングの説明に関するロールプレイングの運営方法(7)	村山 尚紀 氏 (前掲)
15	16:35～16:55	振り返り・アンケート	村山 尚紀 氏 (前掲)
16	16:55～17:10	修了式	村山 尚紀 氏 (前掲)

(以上、裏面は講師プロフィール)

<プロフィール> (五十音順)

■淵上 敬史 氏 (ふちがみ たかし)

株式会社ウィズ AS 事業部課長。作業療法士、介護支援専門員の資格を活かし、利用者の支援にあたりるとともに、専門職に対する福祉用具による援助技術の教育研修にも積極的に取り組み、年間を通じて多くの技術研修の講師を務めている。また、福祉用具サービス計画やモニタリングを実施する際の、利用者の心身機能の見方や選定のポイント、作成業務全般のマネジメントの指導・助言等も行っている。

■村山 尚紀 氏 (むらやま なおき)

社会福祉法人芳春会ビオラ和泉施設部部長兼地域密着型介護老人福祉施設ビオラ和泉管理者。社会福祉士。介護福祉士。主任介護支援専門員。1994年、ビオラ和泉入職。特別養護老人ホーム及びデイサービスセンターの介護職員、生活相談員として従事。1998年、在宅サービス供給ステーションディレクター、2000年、居宅介護支援事業所介護支援専門員、2006年、地域包括支援センター社会福祉士、2007年、法人内在宅サービス責任者、地域密着型介護老人福祉施設ビオラ和泉管理者を務め、2018年より現職。大阪府介護支援専門員研修講師。

■渡邊 慎一 氏 (わたなべ しんいち)

一般社団法人神奈川県作業療法士会顧問。横浜市総合リハビリテーションセンター地域リハビリテーション部部長。元・厚生労働省老健局振興課福祉用具・住宅改修指導官。福祉用具専門相談員研修用テキストの執筆に携わる他、著書も多数。一般社団法人日本作業療法士協会制度対策部福祉用具対策委員長、厚生労働省福祉用具・住宅改修評価検討会委員等、多数の公務に従事。ふくせん理事。

以上